

～きたかみいきいき通信は、地域の元気づくりの情報を発信しています～

# きたかみ いきいき通信



令和6年  
2月号

発行日/令和6年1月吉日  
北上市長寿介護課包括支援係  
問い合わせ/72-8221(直通)

地域で通いの場をやっていても、なかなか参加者が増えないという悩みは多いかもしれません。そんな中、最近参加者が増えているグループがありましたので、どんな活動をしているのか取材してきました！

## ～笑顔があふれ、人が集う～ セラピードッグで楽しい通いの場づくり

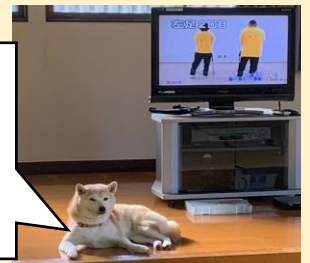
グループ名:たんばの会

◆活動日 火・金 10:30～11:30

◆場所: 黒沢尻9区公民館

◆内容: いきいき体操・かみかみ体操  
セラピードッグ訪問(火曜のみ)  
※犬とのふれあいを楽しむレクリエーション

<セラピードッグ>  
名前 こてつ(11歳・メス)  
穏やかに滅多に吠えることなく、誰でも撫でさせてくれる、グループのアイドル。



きっかけは？

飼い主が体操に参加する間、こてつを車で待たせていたところ、他のメンバーからアイデアがあり、公民館の許可を得てこてつの訪問が始まりました。こてつとのふれあいで癒されるとのことで、セラピードッグとして定着しています。犬アレルギーの人のために、火曜日だけセラピードッグの日としています。



かまって～♪

体操が始まると寝ます



参加者が増えていますが、  
どんな工夫をしていますか？



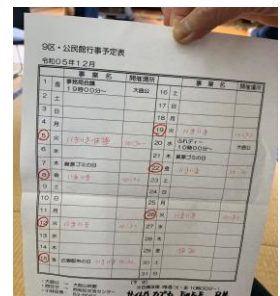
齊藤さん

グループのリーダーの齋藤さんは、副区長、民生委員、交通指導員など様々な役割をお持ちです。

世代を問わず集える場を目指しています。

手作りのいきいき体操カレンダーを持参し、一軒一軒訪問して活動紹介しています。

～齋藤さん作成のカレンダー～  
「手書きの方が見てもらえるから」、と心を込めて作っています。いきいき体操だけでなく、ふれあいあいデイサービスや公民館行事のほか、資源ごみの日のスケジュールまで入っています。福祉協力員さんとも連携して活動をお知らせしています。



参加者の声

こてつが来ると、参加者同士の会話が自然と増えます。また、こてつへ関わる様子から、その人となりが伝わり、以前より互いのことをよく知り合うことができました。